

水芭蕉の森

4月～5月の雪解け直後が見頃です。

「水芭蕉の森」は、駐車場から近く気軽に観察できる事から人気があり、見ごろの4月中旬には訪ねる人が絶えません。

整備された木道を進むとハンノキの木の間越しに5万株ともいわれるミズバショウの白い大群生が見えてきます。この光景を目にして歓声をあげる人も少なくありません。

周辺にはカタクリやスハマソウ等可憐な野草も観察できます。また、6月上旬には、湿地に群生するコバイケイソウとサラサドウダンの見ごろになります。

ご家族連れで気軽に楽しめるコースとして、豊富な野鳥観察もかねてお楽しみください。



どうだんの森

自然サラサドウダンの群生地があります。

水芭蕉の森を越え、整備された遊歩道及び木橋を奥に進むと自然サラサドウダンの群生地があります。自然保護・自然観察・市民の憩いの場として親しまれています。

花は5～6月頃に咲き、枝先に垂れ下がる淡紅色の可憐な花が一面に広がり楽しめます。木立の中の楚々とした花をお楽しみください。晩秋には赤い実がよく目立つマユミの木も見ることが出来ます。秋には紅葉スポットとしても楽しめます。



不伐の森

川原子ダム周辺の「不伐の森」の森林は、自然とのふれあいの場所として親しんでいただけますよう、散策の休憩地に四阿(あづまや)をはじめ、トイレ、歩道などが整備されています。また、川原子ダムに映る、不忘山や野草などを撮影しながらのトレッキングに訪れるグループも多く見られます。

交通のご案内



DATA

■水芭蕉の森

歩行時間約1時間。標高640m、面積8ha湿性林。ご家族向けのコースです。園地面積/35,832㎡ 園内遊歩道/1,046m

■どうだんの森

園地内はゆっくり歩いて30分位の時間で気軽に楽しめます。水芭蕉の森から続く木道木橋の散策路を進むと、自然サラサドウダンの群生林が広がります。現駐車場周辺及び四阿周辺ではツツジ等が楽しめます。6月になると湿地にはコバイケイソウも見られますが、このころにはサラサドウダンが満開となり、「どうだんの森」が賑わいます。その後もコバキボウシ、エゾシロネ、ダキバヒメアザミ、アケボノソウと咲き続きます。花の季節は、9月下旬のエゾリンドウで終焉を迎えます。園地面積/15,368㎡ 園内木道/763m

■施設

駐車場・トイレを完備しています。

ACCESS

●仙台方面から…

白石ICから国道4号線を福島方面へ進み2つめの信号(目印ガソリンスタンド)を右折し国道457号線を南蔵王野営場方面に進みます。

●福島方面から…

国道4号線を仙台方面に進み新白石大橋を渡り、2つめの信号(目印ラーメン店)を左折し、国道457号線を国立南蔵王野営場方面に進みます。

お問い合わせ

白石市産業部商工観光課 TEL.0224-22-1321
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/welcome/guide/007.html

「水芭蕉の森」「どうだんの森」散策路ガイドマップ

南蔵王色彩の森

「水芭蕉の森」は、駐車場から近く気軽に観察できる事から人気があり、見ごろの4月中旬には訪ねる人が絶えません。

水芭蕉の森を越え、奥に進むと自然サラサドウダンの群生地があり、枝先に垂れ下がる淡紅色の可憐な花が一面に広がり楽しめます。

自然と触れる・森林浴を楽しむ・野鳥や草花を観察する



自然とふれあうウォーキングコース

「水芭蕉の森」 「どうだんの森」散策路



水芭蕉の森

水芭蕉の森は、南蔵王野営場近くの湿地帯にあります。水芭蕉の花は、4月上旬に咲き始め、白い清楚な花が南蔵王山麓に春の訪れを告げます。5万本を超える花が一面に咲き誇り、4月下旬ごろまで楽しめます。 ■歩行時間：約1時間



どうだんの森

隣接する「どうだんの森」は、落葉低木の群生地、木道が整備され散策しながら森林浴が楽しめます。枝先にかかる鐘形の赤く可憐なサラサドウダンの花は、5月下旬に咲き始め、6月中旬にかけて見ごろを迎えます。他にも様々な植物が咲き続きます。 ■歩行時間：約1時間



▶ 矢印方向 上り
▶ 矢印方向 下り
 木道
 (区間距離)



駐車場

至白石市内

トイレ
至国立南蔵王
青少年野営場